

点検・整備付きの

その後のカーライフ

ちょっと深掘り
してみよう!!

定期点検…ってナニ?

…って
ナニ?



1. 車検と定期点検の違いについて

車検とは…

クルマが公道を走行するにあたり、国が定めた基準にその時点で適合しているか確認するための「検査」です。

「検査」に合格しても、将来的な安全かつ快適な走行を保証するものではありません。



定期点検とは…

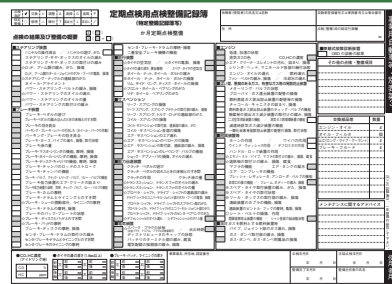
クルマを安全に使い続けるため、劣化や消耗した部品や交換が必要な部品がないかを確認するクルマの健康診断です。

交換が必要な部品や修理箇所の早期発見をする事で不具合の発生を予防し、キケンな状態を未然に防ぐ事ができます。

2. 定期点検ってどんなことをチェックしているの?

定期点検では以下のような様々な箇所を点検します。

- エンジン・ルーム … エンジン、ステアリングなど
- 室内 … ハンドル、ペダルなど
- 足廻り … サスペンション、ホイール、ブレーキなど
- 下廻り … エンジンオイル、ミッション、マフラなど
- 外廻り … フレーム、ボディなど
- 車載式故障診断装置 … OBD の診断など



3. 点検整備済みステッカーってどういうもの?

クルマのフロントガラス助手席上方に貼付されるこのステッカーは、法定点検整備が確実に実施された事を意味しています。「点検整備済みステッカー」は、全部で4色あり1年ごと、**橙色**、**青色**、**赤色**、**緑色**を繰り返しています。



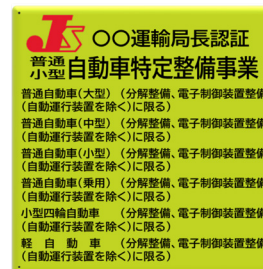
1年ごとに繰り返す

※ステッカー中央には次回定期点検を実施する予定の年(数字)が記載されています。(自家用乗用車は1年ごとの点検が必要)

4. 認証看板について

この看板が掲示されている整備工場は、国の認証を受けた整備工場です。

定期点検整備の際には、ブレーキなどの分解を伴う様々な箇所の点検を実施します。大切なクルマを安心しておまかせいただけます。



5. 検査標章について

車検合格後に、クルマのフロントガラスに貼付されるこのステッカー、オモテ面は次に車検を受ける予定の年と月が表示されています。

車検時に点検整備記録簿の提示がなかった等、定期点検整備の実施が確認出来なかった場合に、ウラ面に「法定点検未実施(車検時)」と記載されます。定期点検整備が確実に実施されていれば、当該文言は記載されません。

